



# 2015年度第2四半期決算説明会

2015年11月12日

東武鉄道株式会社

# 目次

- ・Ⅰ.2015年度 第2四半期実績 P02
  
- ・Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進 P16
  
- ・Ⅲ. 2015年度 通期見通し P42

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 連結子会社及び持分法適用会社の異動状況

2015年9月末現在

セグメント \ 項目	連結子会社	持分法適用会社	計	2015年3月	増減
運輸	30	2	32	33	1社減
レジャー	20	2	22	23	1社減
不動産	4	0	4	4	
流通	15	3	18	18	
その他	17	0	17	17	
計	86	7	93	95	2社減

(参考) 14年度(通期)の決算期変更による影響額

セグメント \ 項目	社数	14年度	
		影響額(単位:億円)	
		営業収益	営業利益
運輸	0	0	0
レジャー	1	6	△1
不動産	0	0	0
流通	1	2	0
その他	2	36	3
計	4	44	2
消去	-	△28	△1
合計	4	16	1

減少内訳

運輸セグメント

(株)千葉ロジテム

(15年7月(株)群馬ロジテムと合併による減少)

レジャーセグメント

東武トラベル(株)

(15年4月トップツアー(株)と合併による減少)

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 1 収益力(連結)

(単位:億円)

		15年度 第2四半期	14年度 第2四半期	増 減	参 考	
		(実績)	(実績)		(計 画)	(対計画)
	営業収益	2,858	2,836	22	2,855	3
	営業費用	2,543	2,597	▲54	2,586	▲43
	営業利益	315	239	76	269	46
	経常利益	264	209	55	207	57
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	134	157	▲23	112	22

※計画値は15年5月15日発表のものを使用している。(P3~P15)

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 2 損益項目の増減要因 (14年度第2四半期→15年度第2四半期)

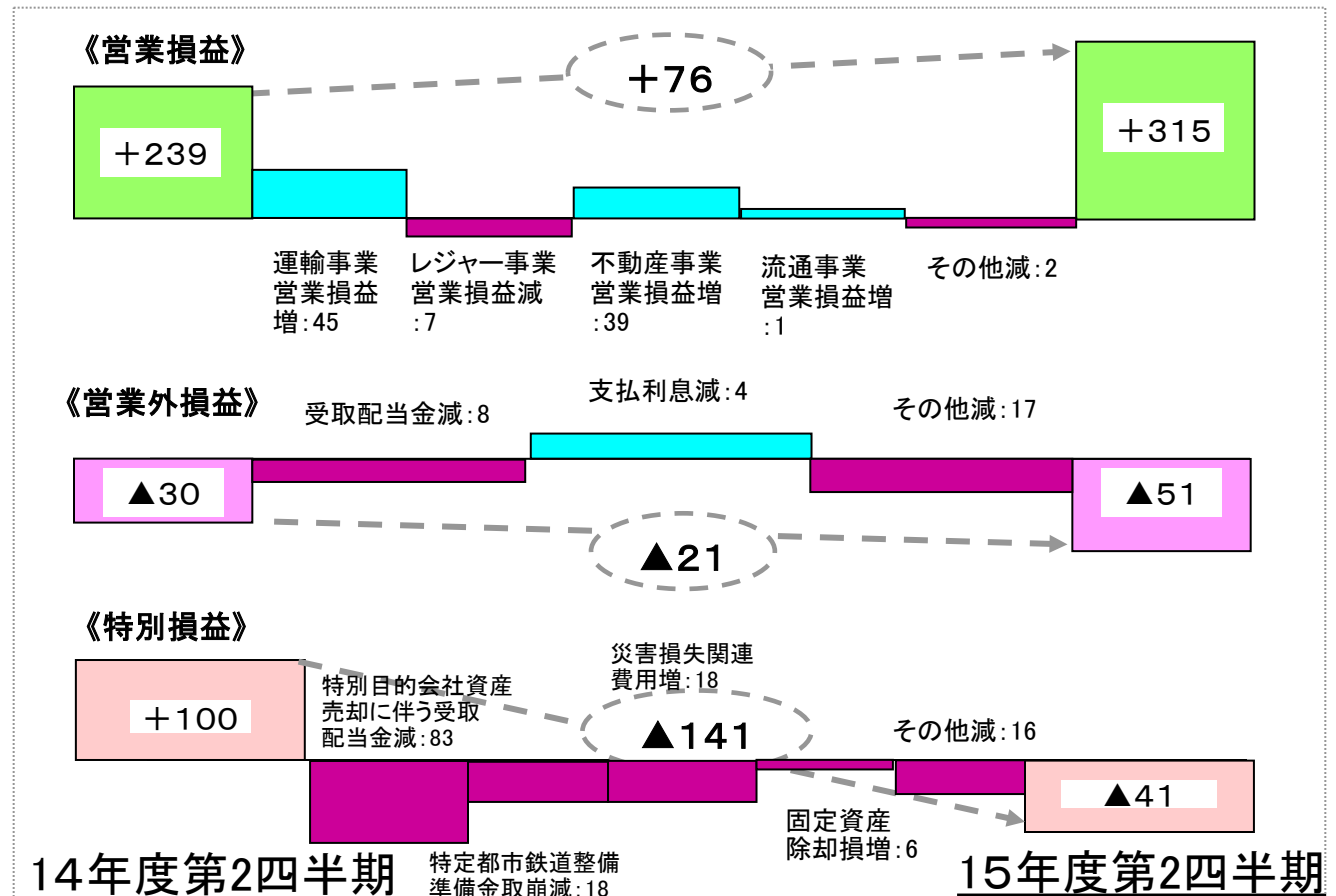
(単位: 億円)

15年度

親会社株主に帰属する  
四半期純利益 134億円  
(前年同期比: ▲23億円)

営業損益	: +76
営業外損益	: ▲21
特別損益	: ▲141
税金等調整前 四半期純利益	: ▲86
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	: ▲23

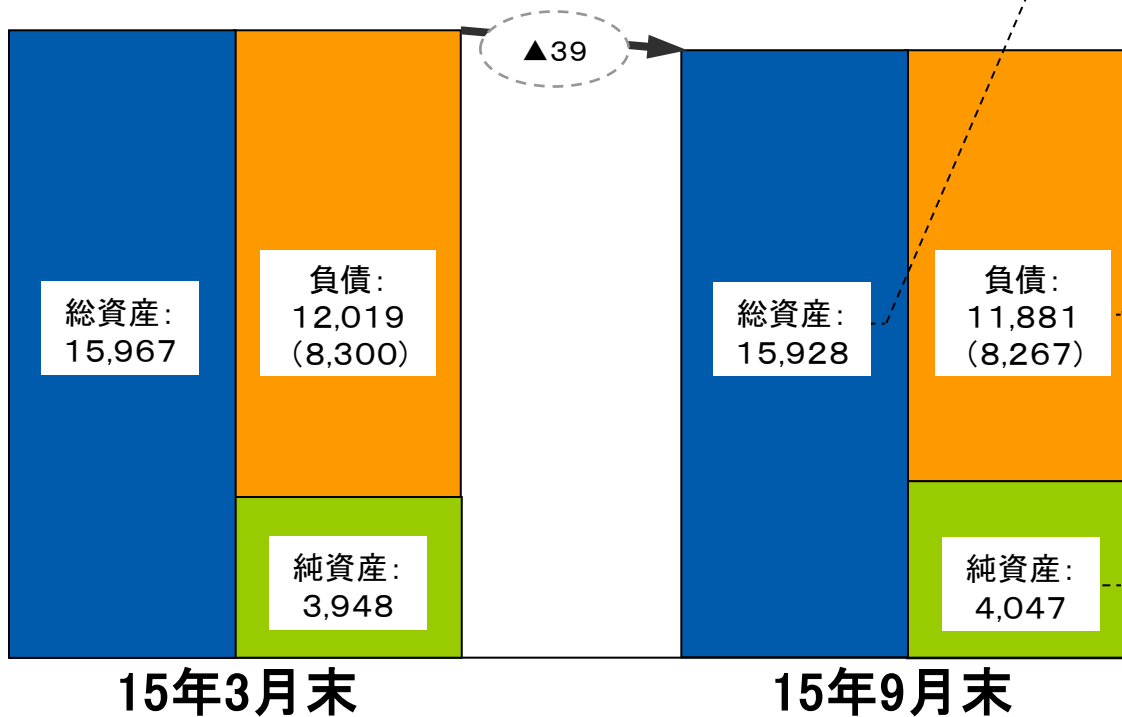
売上高営業利益率  
11.0%



# I. 2015年度 第2四半期実績

## 3 総資産の動き (15年3月末→15年9月末)

(単位:億円)



総資産(15/3末比)	: ▲39
有形固定資産	: 101
投資有価証券	: ▲70
その他	: ▲70

負債(15/3末比)	: ▲138
有利子負債	: ▲33
<small>(借入金、社債、鉄道運輸機構未払金)</small>	
その他	: ▲105

純資産(15/3末比)	: 99
利益剰余金	: 103
その他有価証券評価差額金	: ▲15
その他	: 11

※ カッコ内  
負債:有利子負債残高

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 4 キャッシュフロー(連結)

(単位:億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	増 減	14年度 通期実績
EBITDA	573	490	83	1,048
(営業利益)	(315)	(239)	(76)	(532)
(減価償却費)	(258)	(251)	(7)	(516)
有利子負債残高	8,267	8,480	▲213	8,300
純工事額	383	1,291	▲908	1,595

14年第2四半期純工事額のうち、東武百貨店池袋店および船橋店の資産買取価額・・・1,030億円

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 5 セグメント別営業利益(連結)

(単位:億円)

	15年度 第2四半期	14年度 第2四半期	増 減
	(実績)	(実績)	
運 輸	194	149	45
レジャー	33	40	▲7
不動産	72	33	39
流 通	▲1	▲2	1
その他	19	17	2

参 考	
(計 画)	(対計画)
166	28
32	1
59	13
▲6	5
15	4

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)



# I. 2015年度 第2四半期実績

## 《運輸事業》

(単位:億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	1,093	1,062	31	17
鉄道	813	794	19	10
その他	280	268	12	7
営業費用	899	913	▲14	▲11
鉄道	643	657	注1 ▲14	注2 ▲8
その他	256	256	0	▲3
営業利益	194	149	45	28
鉄道	170	137	33	18
その他	24	12	12	10

### 主な増減要因

東武鉄道 鉄道業の乗車人員・旅客収入 (単位:百万人、億円、%)

		15年度	14年度	対前年		15年度	対計画	
		2Q実績	2Q実績	増減	%	2Q計画	増減	%
乗車人員	定期外	158	153	5	2.8	155	3	2.0
	定期	303	294	9	3.1	299	4	1.1
	(特急※)	3	3	▲0	▲0.3	3	▲0	▲2.2
	計	461	447	14	3.0	454	7	1.4
運輸収入	定期外運賃	368	359	9	2.5	361	7	1.8
	特急料金	28	28	▲0	0.7	28	▲0	▲1.3
	定期運賃	335	325	10	2.9	332	3	0.9
	計	731	712	19	2.6	721	10	1.3

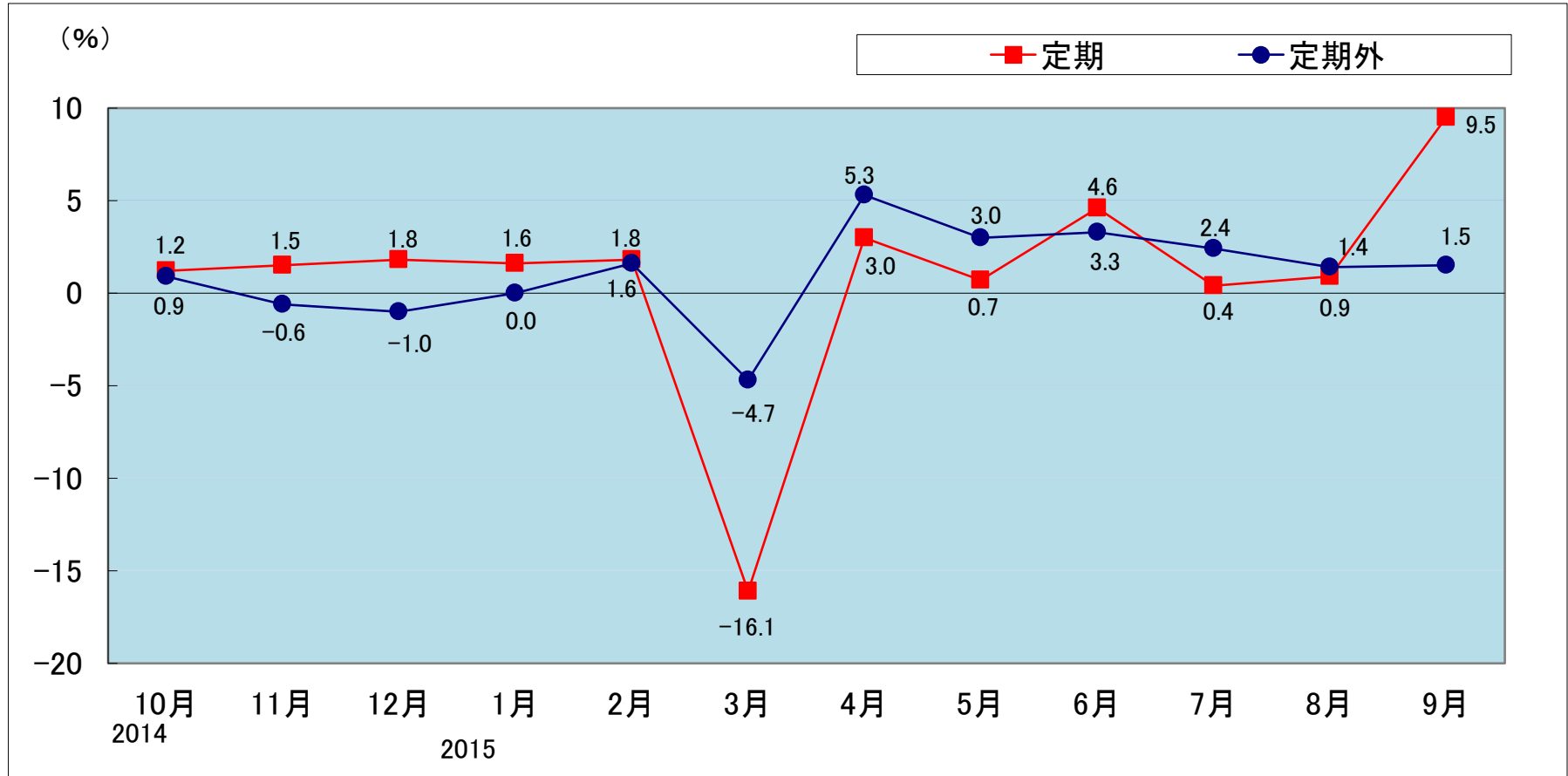
※乗車人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

注1 東武鉄道 鉄道業  
 人件費 ▲28  
 物件費 +9  
 動力費 ▲5  
 諸税 +4  
 減価償却費 +6

注2 東武鉄道 鉄道業  
 人件費 ▲10  
 物件費 +3  
 動力費 ▲4  
 減価償却費 +3

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 輸送人員(定期・定期外)の増減率の推移(対前年比較)



# I. 2015年度 第2四半期実績

## 《レジャー事業》

(単位: 億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	391	388	3	▲4
ホテル	85	80	5	5
スカイツリー	76	85	▲9	▲1
その他	230	223	7	▲8
営業費用	358	348	10	▲5
ホテル	82	79	3	2
スカイツリー	45	45	0	▲4
その他	231	224	7	▲3
営業利益	33	40	▲7	1
ホテル	3	1	2	3
スカイツリー	31	40	▲9	3
その他	▲1	▲1	0	▲5

### 主な増減要因

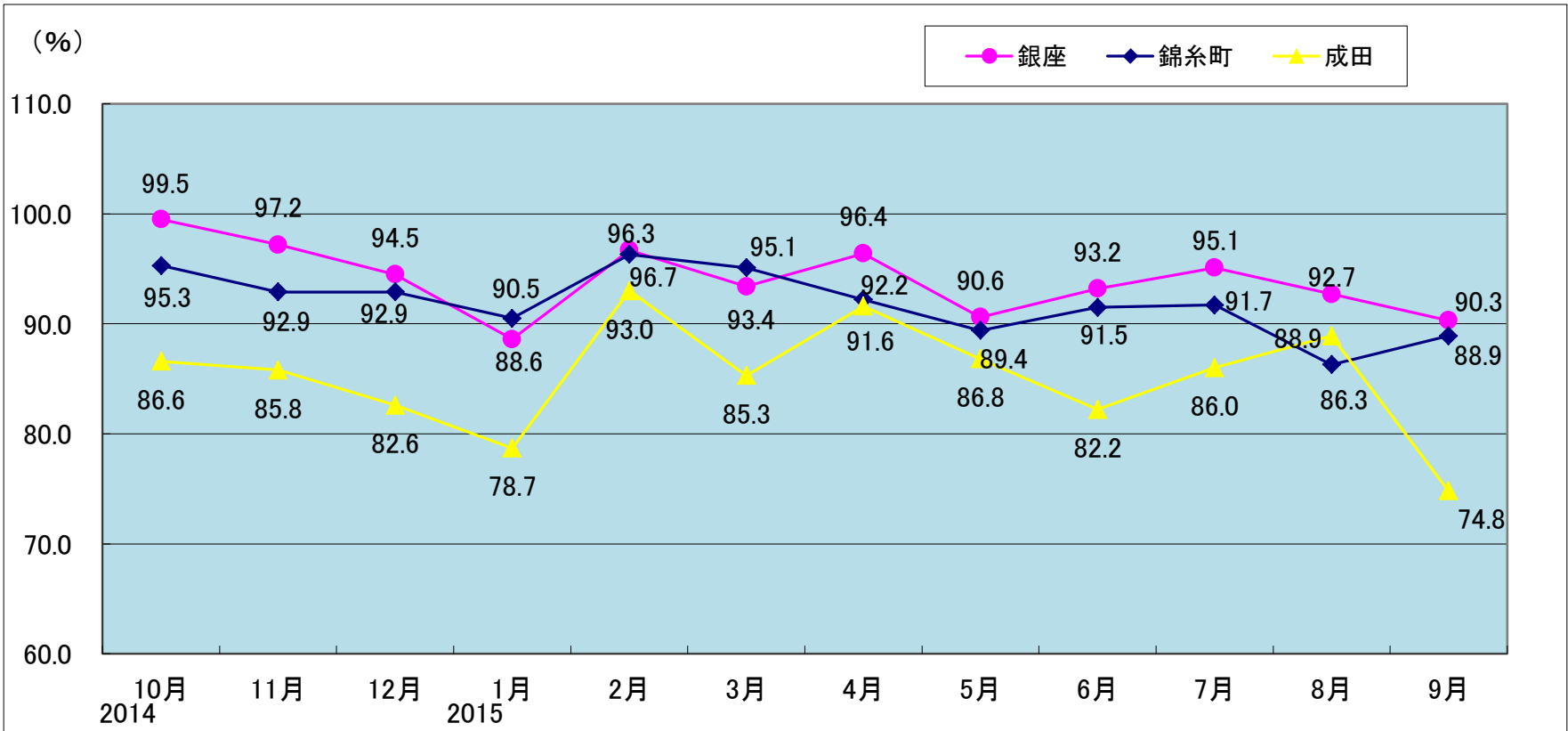
主なホテルの状況(実績)

	客室稼働率(%)			婚礼組数(組)		
	15年度2Q	14年度2Q	増減	15年度2Q	14年度2Q	増減
銀座	93.0	93.0	0.0	62	64	▲2
錦糸町	87.0	89.4	▲2.4	72	72	0
成田	85.1	79.9	5.2	-	-	-

※東京スカイツリー入場者数  
 15年度2Q実績 約241万人  
 14年度2Q実績 約275万人

# I. 2015年度 第2四半期実績

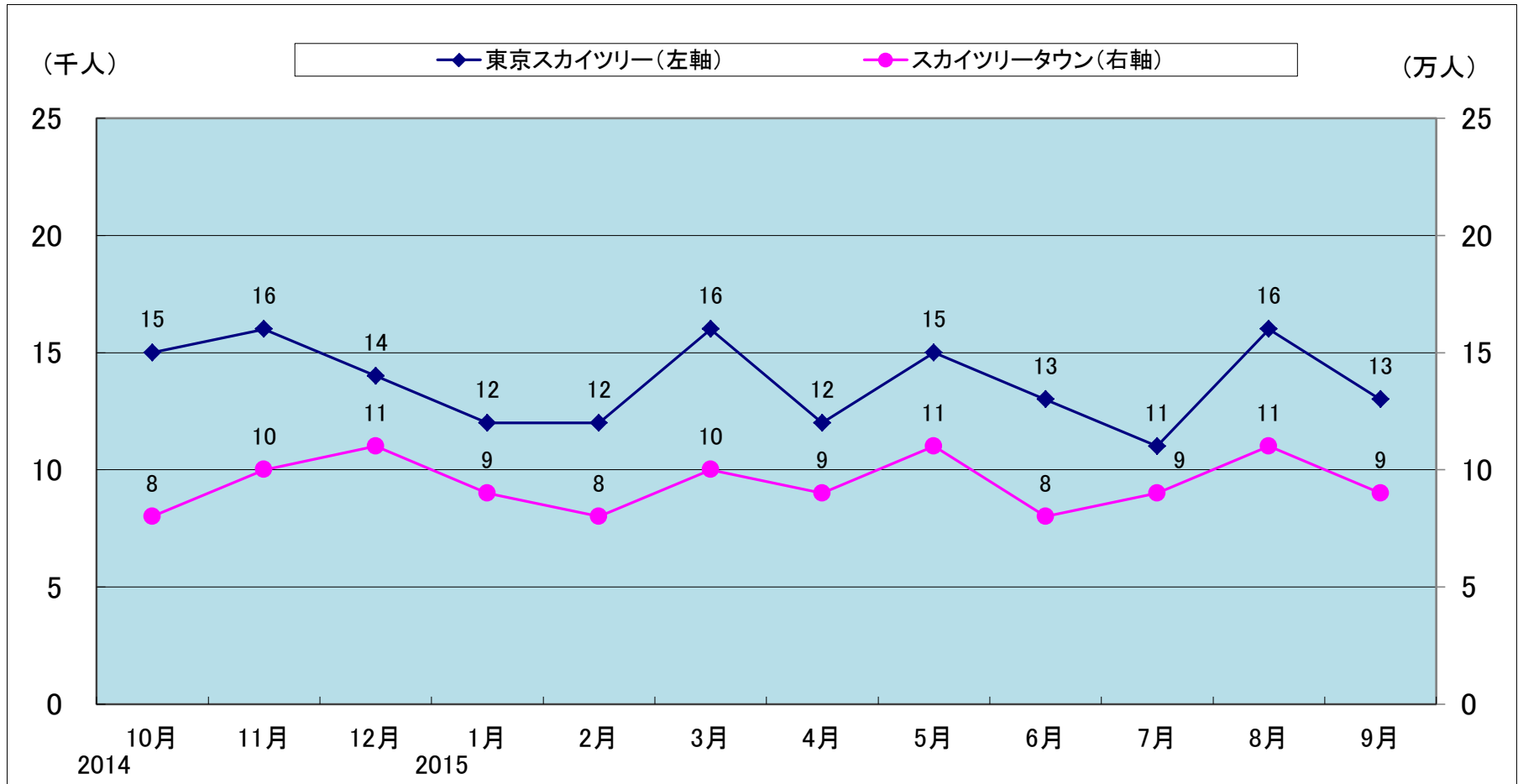
## 主なホテルの稼働率の推移



※成田は10月～2月まで改修工事、錦糸町は6月～7月まで改装工事を行いました。  
同期間の稼働率については、工事を行った客室を除いて計算しています。

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 東京スカイツリータウンの一日平均来場者数の推移



# I. 2015年度 第2四半期実績

## 《不動産事業》

(単位: 億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	287	255	32	7
賃貸	167	166	1	▲3
タウン	65	65	0	2
分譲	55	24	31	8
営業費用	215	222	▲7	▲6
賃貸	107	114	▲7	▲8
タウン	54	54	0	▲3
分譲	54	注 54	0	5
営業利益	72	33	39	13
賃貸	60	52	8	5
タウン	11	11	0	5
分譲	1	▲30	31	3

### 主な増減要因

分譲販売戸数		単位: 戸				
		15年度 2Q実績	14年度 2Q実績	対前年 増減	15年度 2Q計画	対計画 増減
販売戸数	戸建住宅	15	2	13	13	2
	マンション	143	84	59	152	▲9
持分換算後 販売戸数	戸建住宅	15	2	13	13	2
	マンション	117	43	74	121	▲4

注

販売用不動産評価損 29

※スカイツリータウン来場者数  
 15年度 2Q実績 約1,723万人  
 14年度 2Q実績 約1,743万人

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 《流通事業》

(単位: 億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	977	1,011	▲34	▲17
百貨店	866	900	注1 ▲34	注2 ▲17
その他	111	111	0	0
営業費用	978	1,013	▲35	▲22
百貨店	871	905	▲34	▲21
その他	107	108	▲1	▲1
営業利益	▲1	▲2	1	5
百貨店	▲5	▲5	0	4
その他	4	3	1	1

### 主な増減要因

注1

池袋店	▲22
船橋店	▲4
宇都宮店	▲7
大田原店	▲1

注2

池袋店	▲4
船橋店	▲7
宇都宮店	▲5
大田原店	▲1

# I. 2015年度 第2四半期実績

## 《その他事業》

(単位:億円)

	15年度 第2四半期 (実績)	14年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減	主な増減要因
営業収益	394	407	▲13	11	
営業費用	375	390	▲15	7	
営業利益	19	17	2	4	



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



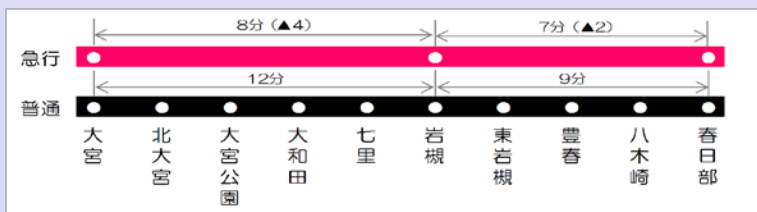
基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

東武アーバンパークラインの利便性向上

## 東武アーバンパークラインの定住化促進と交流人口創出に向け、さらに便利で快適に利用できる新たなサービスを提供

### ■大宮～春日部間急行運転の実施

- ・16年春 平日日中時間帯および土休日に急行列車を新設し、大宮～春日部間6分短縮（現行21分⇒15分）



### ■橋上駅舎化による、まちの活性化

岩槻

・16年度 橋上駅舎完成予定

高柳

・19年度 橋上駅舎完成予定

### ■新型車両「60000系」増備

- ・15年度 2編成12両導入（置換え率43%）

### ■駅の快適性向上

大宮公園

・16年春 新駅舎完成予定

新船橋

・16年春 駅舎リニューアル完成予定



高柳駅橋上化（新設西口）（イメージ）

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

質の高い輸送サービスの提供



## ・新型車両の積極的導入による新たな需要の創出

### ■ 新型特急「500系」の併結・分割機能を活かした

多線区でのフレキシブルな運用(17年春予定)

#### ・日光・鬼怒川温泉方面への観光輸送需要の喚起

下今市駅での併結分割により、日光方面・鬼怒川方面双方向への直通需要に対応

#### ・通勤時間帯等における着席需要への対応

着席需要に応じた多線区での運用



「500系」エクステリアデザイン(イメージ)

### ■ 日比谷線新型車両「70000系」導入(16年度予定)

・19年度までに日比谷線直通用車両全編成を20m7両化に更新し、

ホームドア(可動式ホーム柵)の整備に対応

・東京メトロ新型車両「13000系」と仕様共通化し、利便性を向上

・各ドア上部に17インチワイド液晶を3画面搭載し、お客様への情報提供を充実



「70000系」エクステリアデザイン(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

質の高い輸送サービスの提供

## 副都心線直通列車の急行運転やTJライナーの新設・増発等 お客様のニーズに応える新たな輸送サービスを提供

### ■ 16年春 東上線 副都心線直通列車の急行運転開始

- ・副都心線直通列車を東上線内【急行】として運行
- ・これにより、和光市～川越間の所要時間を最大10分程度短縮



TJライナー

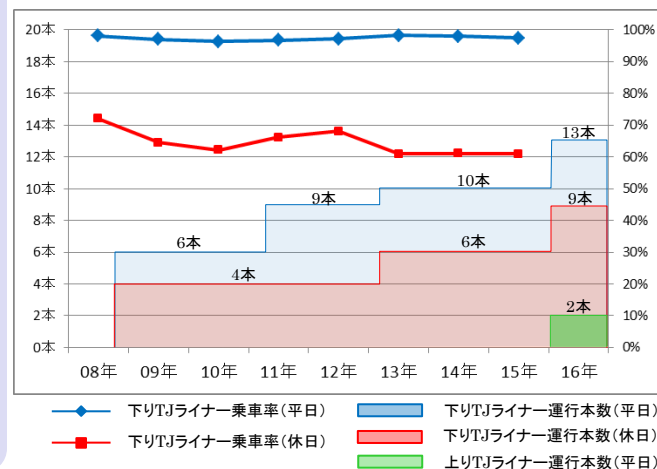
### ■ 16年春 上りTJライナー新設・下りTJライナー増発

- ・朝通勤時間帯に上りTJライナーを2本新設  
停車駅：（森林公園、東松山、坂戸、川越、ふじみ野 ⇒ 池袋）

- ・タラッシュ時間帯の下りTJライナーを3本増発

**平日** : 池袋発18時～0時まで30分間隔運転（現行10本⇒13本）

**土休日** : 池袋発17時～21時まで30分間隔運転（現行6本⇒9本）



TJライナー乗車率・運行本数

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

さらなる安全性の向上



## ・安全性と信頼性を高め、お客様にさらなる安心を提供

### ■東上線新運転保安システム(ATC)完成による安全性向上

- ・和光市～川越市間 ⇒ 15年6月13日使用開始
- ・池袋～和光市間 ⇒ 15年9月26日使用開始
- ※ 川越市～小川町間は14年度に使用開始済

### ■ホームドア(可動式ホーム柵)導入・推進による安全性向上

和光市・川越

- ・和光市駅(15年度完成予定)
- ・川越駅(17年度完成予定)

### ■連続立体交差事業推進による都市交通の円滑化、 分断された市街地の一体化

とうきょうスカイツリー駅付近

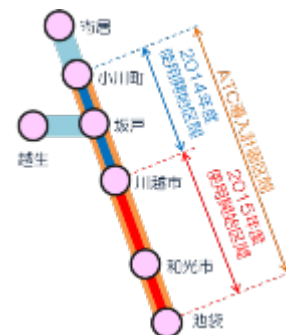
- ・東京都及び墨田区が都市計画決定手続き中

竹ノ塚駅付近

- ・高架橋工事推進中(20年度事業完了予定)
- ・2か所の踏切廃止

清水公園～梅郷間

- ・高架橋工事推進中(17年度事業完了予定)
- ・11か所の踏切廃止



新運転保安システム導入区間



和光市駅可動式ホーム柵(イメージ)



竹ノ塚駅付近 連続立体交差化事業



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略1 鉄道事業の利便性・安全性の向上

さらなる安全性の向上



## ・とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業の進捗

### ■ 計画の概要

延長 約1.0km(立体化予定区間 約0.9km)

構造形式 高架式(嵩上式)

除却踏切 1箇所(伊勢崎線第2号踏切)

### ■ これまでの経緯

11年12月 墨田区基本計画策定

12年 3月 社会資本総合整備計画へ位置づけ

14年 7月 連続立体交差事業促進連絡協議会設置

15年 3月 都市計画素案説明会開催

### ■ 今後の予定

15年12月 都市計画案説明会開催



出典：東武鉄道伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)  
鉄道・道路・地区計画に関する都市計画素案のあらまし

# Ⅱ 「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大



## ・ニーズを捉えた商品開発や受入体制の整備、 観光営業活動の展開による誘客強化

### ■天望デッキと天望回廊の入場をセットにした旅行商品の販売

#### ・旅行商品として販売促進

旅行会社が販売する旅行商品として、パンフレットやWEBを媒体にして15年10月1日以降入場分より販売展開(東武トップツアーズ、JTB、ジャルパック、はとバス等)

#### ・セット企画券の付加価値による施策

天望回廊への優先入場やオフィシャルショップでの10%割引券(夕方以降来場時)の特典



東京スカイツリー天望回廊

### ■団体バス駐車場の駐車時間拡大による受入体制の強化

- ・15年12月1日より団体バスの駐車時間を最大3時間まで拡大
- ・滞在時間の延長により天望回廊の利用やタウン内の回遊を促進

### ■国内観光営業活動の強化

- ・東京ビッグサイトで開催されたツーリズムEXPOジャパン(15年9月)への出展
- ・全国各地で積極的なプロモーション活動を展開し、知名度の向上や誘客を推進
- ・戦略的な修学旅行の誘致活動により、学生団体数は順調に拡大(対前年103%)



ツーリズムEXPOジャパン出展ブース

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

来場者の維持拡大



## ・天望シャトル改修による営業力の強化と 賃貸事業の拡大により、安定的な経営基盤を構築

### ■天望シャトル(エレベーター)改修工事

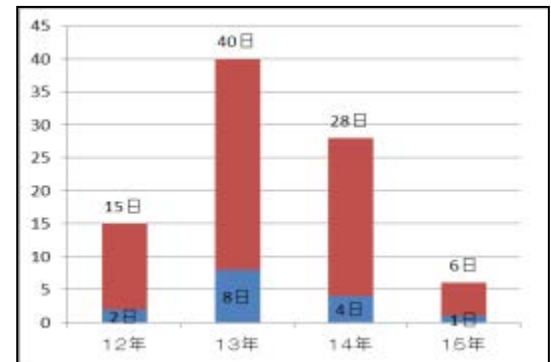
#### ◎強風時の利用制限を改善する改修工事を推進

- ・第1期工事(1機目) 完工 15年8月3日 営業運転再開  
⇒強風時における天望デッキでのエレベーター運転稼働の確保や、Sky Restaurant 634 の営業継続が可能に(完工後は、運転休止なし)
- ・第2期工事(2機目) 着手 15年11月～16年3月 営業運転停止(予定)  
⇒完工後の16年度からは、台風等の場合を除き営業継続が可能となる見込  
※第3期工事(3機目)については、16年度上期の開始を予定

### ■電波塔施設 賃貸事業の拡充

- ①AMラジオ3社の FM補完放送(ワイドFM) 15年12月開始(予定)  
【入居中の放送事業者】(15年9月現在)  
在京TV7社、AMラジオ3社、FMラジオ2社、携帯端末向けマルチメディア1社
- ②東京都防災カメラの新規利用 15年度末頃開始(予定)
- ③東京ビッグサイトで開催された気象・環境テクノロジー展(15年7月)への出展  
※塔体の高さ等を活用した無線通信・気象観測等、新規利用者獲得へ向けた営業活動を引き続き推進

強風等による天望シャトルの運転休止(実績)



※12年度は5月22日開業後より  
※15年度は第2四半期のみ  
■営業運転休止  
■うち終日



気象・環境テクノロジー展出展ブース

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略2 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

話題性の増進



## ・観光立国日本のシンボルとして話題性を高め、さらなる賑わいを創出

### ■天望デッキ・フロア350での ナイト・エンターテイメント新プログラム提供

- ・フロアの半周以上にも及ぶ窓ガラス面を活用した大規模な映像等  
夜間エンターテイメント新プログラムの提供(16年春～)を計画中
- ・全幅約110mにわたり投影するバーチャル映像と音響にあわせ、  
リアルなパフォーマーも 登場して一体的に華やかなショーを演出



天望デッキ新プログラム(イメージ)

### ■東京スカイツリーでの 映画「スター・ウォーズ」最新作公開記念特別企画

- ・天望回廊の空間演出や  
オリジナル商品の販売等を予定(15年11月中旬～)
- ・映画『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』  
公開前日(12月17日)公開記念ライティングイベントを開催



天望回廊空間演出(イメージ)



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

沿線の拠点強化

## ・最重要拠点「池袋」において、地域と一体で再開発を推進 ～世界一の都市を目指す東京の新たな顔に～

### ■池袋駅西口地区再開発

- 15年3月 当社駅ビル部分を検討エリアに編入
- 6月 基本構想案 提示(右図)
  - ※施行区域は、当社駅ビル部分の一部を含む約4.5ha
- 7月 池袋駅周辺地域が、  
特定都市再生緊急整備地域に指定
- 9月 総合コンサルタントを選定
- 12月 池袋駅西口地区市街地再開発準備組合設立(予定)

### ■池袋駅周辺整備計画等との協働

- ・東西連絡通路(東西デッキ)整備基本構想
- ・駅空間整備 等



出典: 池袋駅西口地区まちづくり協議会

池袋駅西口地区 基本構想(案)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

沿線の拠点強化

## 沿線拠点の強化を図り、駅を中心とした地域の活性化を推進

### ■ 曳舟駅直結の拠点病院を建設

- ・駅の利便性向上と地域活性化を目指し、安全、安心、快適な暮らしが提供できる施設を建設



#### 【施設概要】

- ・敷地面積 2,999.00㎡ ・延床面積 9,733.94㎡
- ・賃貸先 医療法人伯鳳会 ・病床数 199床(予定)

#### ・スケジュール

- 14年12月 着工
- 17年1月末 竣工(予定)
- 17年春 開業(予定)



曳舟駅に直結した拠点病院イメージ

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



## 基本戦略3 沿線の生活価値の向上

### ・中央区銀座六丁目地区の土地および建物を取得

～隣接した東武ホテルと連携した活用を検討～

#### ■ 開発土地・建物の取得

15年9月 銀座六丁目地区の土地および建物を取得

##### 【物件概要】

- |     |           |      |           |
|-----|-----------|------|-----------|
| ①土地 | 1,043.54㎡ |      |           |
| ②建物 | 第2リコービル   | 延床面積 | 8,276.52㎡ |
|     | 第3リコービル   | 延床面積 | 2,471.58㎡ |



現況建物写真



今回、取得した土地・建物

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

駅スペースを活用した商業施設の魅力向上

## ・バリエーション豊かなレストラン街へ全面リニューアル

～様々なシーンに対応する全46店舗 新たな食空間を創出～

### ■東武百貨店池袋本店 レストラン街リニューアル

・ダイニングシティ「スパイス」 11階～15階 段階的にリニューアルを実施

15年10月15日(一部27日) 14・15階 オープン(第一期)

16年 1月中旬 13階 第二期

16年 2月下旬 11・12階 第三期

※リニューアル後は、全46店舗のレストラン街が誕生(都内百貨店最多)

15F

14F

2015年10月15日(一部27日)  
リニューアルオープン

改装工事中

13F

2016年1月中旬  
リニューアルオープン予定

12F

改装工事中

2016年2月下旬

11F

リニューアルオープン予定



東武百貨店 レストラン街11F(イメージパース)



レストラン街12F(イメージパース)



レストラン街15F(オープン後の様子)



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

駅スペースを活用した商業施設の魅力向上

## ・沿線のお客様の毎日を豊かに彩るため、高いポテンシャルを有する 駅直結・駅スペースに魅力的な商業施設を積極的に展開

### ■ 駅直結の商業施設の建設計画

成増

・成増南口駅ビル建設計画、橋上店舗改修計画  
(15年10月1期オープン、16年3月グランドオープン予定)

和光市

・和光市南口ビル建設計画(18年3月開業予定)

朝霞台

・朝霞台駅ビル建設計画



成増南口駅ビル建設計画(イメージ)

### ■ 池袋西口地下店舗改修計画

・16年春 グランドオープン予定  
池袋駅西口地下街を、「食」をテーマにしてリニューアルを実施



成増橋上店舗改修計画(イメージ)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

沿線における生活支援サービスの充実化

## ・子育て支援施設の展開による沿線価値の向上

### ■ 駅チカ保育園 開設実績

物件名		路線・駅 (所在地)	開設	定員
スカイツリーライン	(仮称)日生第二梅島保育園ひびき	梅島駅 (足立区)	16年4月(予定)	85名 (予定)
	チェリッシュ大師前駅	大師前駅 (足立区)	12年4月	18名
	草加松原どろんこ保育園	松原団地駅 (草加市)	15年4月	90名
	第二おおたけ保育園	北越谷駅 (越谷市)	15年4月	90名
パークライン	ぽけっとランド 江戸川台駅前保育園	江戸川台駅 (流山市)	13年4月	45名
	(仮称)日生第二新船橋保育園ひびき	新船橋駅 (船橋市)	16年4月(予定)	90名 (予定)
東上線	ポピンズナーサリースクールときわ台	ときわ台駅 (板橋区)	12年4月	40名
	増美保育園 田町	川越市駅 (川越市)	15年4月	90名
	はちの巣保育園	若葉駅 (鶴ヶ島市)	13年4月	60名



草加松原どろんこ保育園



ぽけっとランド  
江戸川台駅前保育園



増美保育園 田町

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略3 沿線の生活価値の向上

マンション分譲の状況

・生活環境の質の向上を目指し、安心して快適に暮らせる「選ばれる沿線」へ

## ■15年度 第2四半期実績

物件名	所在地 竣工年月	総戸数 (単位:戸)	13年度 引渡実績	14年度 引渡実績	15年度 第2四半期実績	15年度 引渡予定
ブリリアときわ台ソライエレジデンス	板橋区 14年11月	329		277	43	52
ソライエR東武サンライト杉戸高野台	杉戸町 13年度から順次	68	9	33	26	26
ソライエ柏豊四季	柏市 15年8月	91			74	91

## ■今後販売予定(新規)の物件

物件名	所在地 竣工年月	総戸数 (単位:戸)
ソライエ船橋塚田	船橋市 17年3月予定	129
パークホームズ船橋塚田	船橋市 17年3月予定	107
(仮称)坂戸市関間四丁目計画	坂戸市 17年3月予定	92



ソライエ船橋塚田 外観完成予想CG

## ・東武アーバンパークラインの魅力をも高める大規模分譲開発 「ソライエ清水公園アーバンパークタウン」の推進

### ■ 15年度 第2四半期実績

物件名	15年度 第2四半期実績	15年度 引渡予定
ソライエ清水公園アーバンパークタウン	15	27

戸建住宅を中心とした約500区画(約9.1ha)の大規模分譲開発

東武アーバンパークラインの魅力をも高めていくとともに、当社グループ一体となって事業展開を推進中

### ■ 大規模分譲開発の魅力をも高める鉄道事業との連携施策

#### ・東武アーバンパークラインダイヤ改正(16年春)

大宮～春日部間で、平日日中時間帯および土休日に急行列車を新設(予定)

清水公園の最終列車(大宮発、柏発)繰下げ(予定)

#### ・忘年会シーズン、夜間時間帯に直通臨時特急列車を運行

浅草(東武スカイツリーライン)から清水公園(東武アーバンパークライン)方面へ

都市とつながる、こころのふるさと。  
**Solaie**  
清水公園  
URBAN PARK TOWN



ソライエ清水公園アーバンパークタウン



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



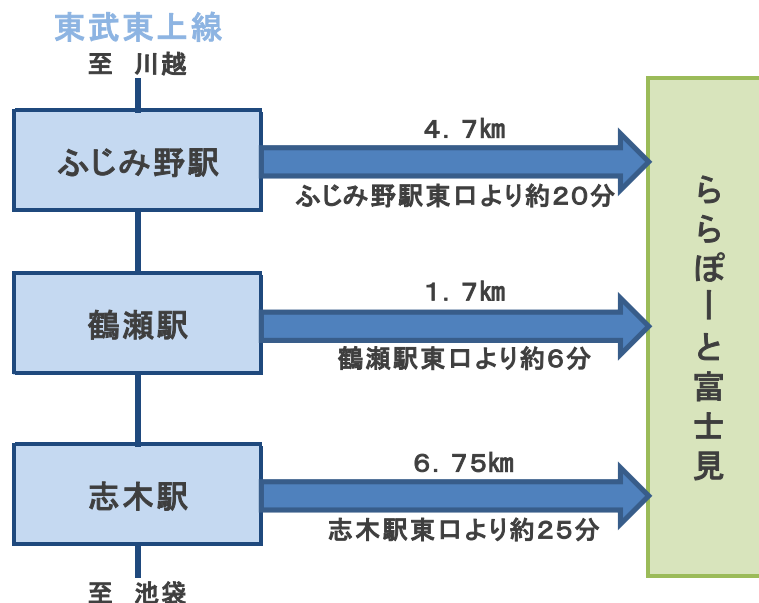
基本戦略3 沿線の生活価値の向上

その他の取り組み

## ・お客様のニーズや需要を捉えた継続的なバス路線の見直し

### ■沿線大型SC「ららぽーと富士見」への バス路線の新設

- ・15年3月 鶴瀬駅と商業施設間の路線を新設
  - ・15年4月 ふじみ野駅、志木駅と商業施設間の2路線を新設
- ※SCへの利用客ならびにスタッフ等の関係者の足として、  
好調に推移



参考：路線別運行本数・利用者数

路線名	所要時分	運行回数(平日)		利用者数(15年度第2四半期)
鶴瀬駅東口～ららぽーと富士見	約6分	往81回	復80回	686,452人
ふじみ野駅東口～ららぽーと富士見	約20分	往20回	復20回	100,831人
志木駅東口～下南畑～ららぽーと富士見	約25分	往10回	復10回	37,426人

※運行回数は、土休日は異なります。

### ・訪日外国人観光客のニーズが高いサービスの整備・充実により 沿線地域への受け入れ体制を強化

#### ■ 訪日外国人観光客向け無料Wi-Fiサービスを整備

- ・15年5月より東京スカイツリータウンや東武鉄道の主要駅を含む東武グループの計25か所の施設において、訪日外国人観光客向け無料公衆無線LANサービスを先行提供開始
- ・幹線全域に向けて整備を継続

#### ■ 特急車両への無料Wi-Fiサービスを順次導入開始

- ・15年12月より、特急「スペーシア」および特急「りょうもう」合計19編成に導入
- ・17年春より運行を開始する新型特急「500系」8編成に導入  
(※全車両への整備完了17年6月予定)

#### ■ 多言語化の充実

- ・ホームページの多言語化を推進  
⇒現行の5言語(英・中(繁・簡)・韓・日)に、今後タイ語を新たに導入

#### ■ インバウンド対応に伴うグループ体制の強化

- インバウンド施策の推進のために「東武グループインバウンド委員会」を拡充  
⇒インバウンドに対する情報発信と受入環境の両面の推進を図る



『TOBU FREE Wi-Fi』ロゴ



現行のタイ向けキャンペーンサイト

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

## ・訪日外国人観光客を沿線に呼び込む各種サービスを展開

### ■ 訪日外国人観光客向け企画乗車券販売促進

【本線】

【東上線】

#### 企画乗車券販売数

(単位:枚)

	13年	14年	15年
ALL NIKKO パス (対前年伸び率)	4,617 -	5,082 + 10.1%	7,697 + 51.5%
2DAY NIKKO パス (対前年伸び率)	4,400 -	7,744 + 76.0%	10,330 + 33.4%
鬼怒川テーマパークパス (対前年伸び率)	1,353 -	1,520 + 12.3%	2,078 + 36.7%
合計 (対前年伸び率)	10,370 -	14,346 + 38.3%	20,105 + 40.1%

#### KAWAGOE DISCOUNT PASS 発売

- ・東上線で初めての訪日外国人旅行者向け企画乗車券を発売(15年2月～)

※1 13年2DAY NIKKO パスの欄には、世界遺産めぐりパスを計上

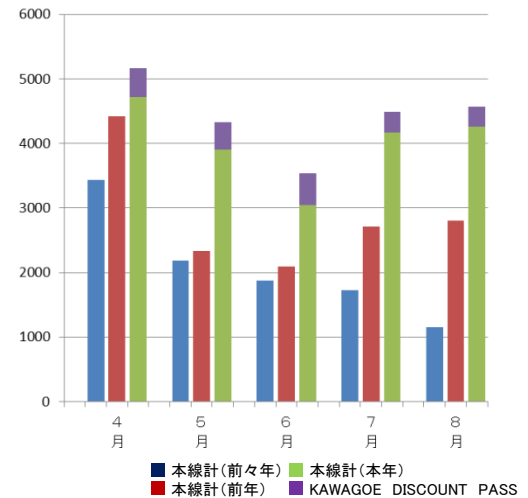
※2 各年 4月～8月の発売数による集計

### ■ 東京スカイツリー 外国人旅行者向け施策の実施

訪日外国人旅行者専用入場券  
『Fast Skytree Ticket』販売開始

- ・専用カウンターを設置し、滞在時間に制限のある外国人旅行者のスムーズな入場を図る
- ・15年2月19日発売開始、15年4～9月末の期間中で約10.6万枚を発売

外国人向け企画乗車券発売実績  
(4月～8月)



Fast Skytree Ticket カウンター

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

## ・拡大するアジアマーケットを視野に、インバウンド誘客強化に向けたプロモーション活動を推進

### ■東京スカイツリー 海外プロモート活動の実施

#### ・15年度の国際旅行展 出展実績

香港国際旅行展示会(15年6月)、タイ国際旅行フェア(15年8月)、台北国際旅展(15年11月)  
その他多数の国内開催商談会

#### ・15年4～9月の来場者実績(団体来場者のみ)

台湾	21,000名(昨年同時期比1.2倍)	香港	4,200名(同5.4倍)
中国	2,700名(同4.6倍)	タイ	1,600名(同1.2倍)

#### ・インバウンド誘致宣伝活動

- ・日経CNBC番組内広告CM放映:アジア16か国(韓国、中国、台湾、香港、タイ、インドほか)
- ・タイTV日本紹介人気番組「すごいジャパン」取材誘致(東京スカイツリー、東京ソラマチ)
- ・日本政府観光局(JNTO)、東京観光財団(TCVB)等招聘海外メディア取材の積極的な受入

### ■展示物の新設(東武ワールドスクウェア)

- ・日本と台湾、台湾と日光市の更なる観光友好促進と地域活性化
- ・台湾からの観光客を東武沿線へ誘致

#### 「台北101」展示開始

- ・台湾のランドマーク「台北101」を新たに製作(15年10月4日より展示開始)



タイ国際旅行フェア 出展ブース



「台北101」展示

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

インバウンド獲得への取組み強化

## ・増加する訪日外国人のニーズを捉えホテル事業の競争力を強化

### ■ホテル毎に異なる訪日外国人向け施策の展開

#### 成田東武ホテルエアポート

- ・アジア系インバウンドのさらなる需要を取り込むため、スイート ルーム 4室をファミリールーム、ダブルルーム36室をツインルームに改装
- ・旅行代理店向け海外セールスの実施  
【中国(上海):4月27日～29日、台湾(台北、高雄)10月13日～16日】

#### コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

- ・欧米系インバウンドのさらなる需要を取り込むため、ツインルーム20室をダブルルームに改装



成田東武ホテルエアポート  
ファミリールーム

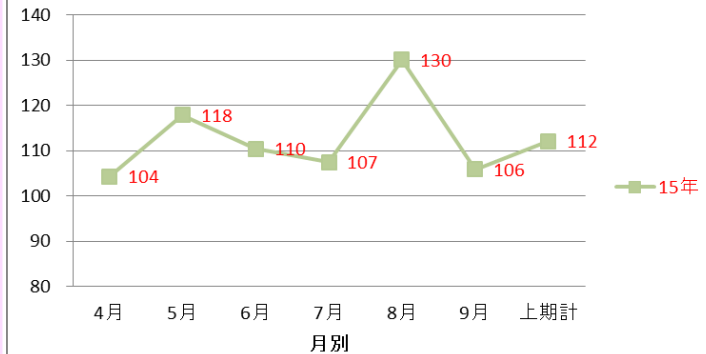


コートヤード・マリオット銀座東武ホテル  
ダブルルーム

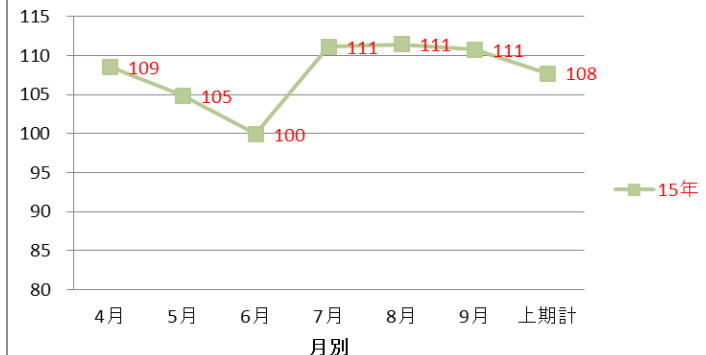
### ■「多通貨決済サービス(DCC)」

および「銀聯カード」の取り扱いを拡大

外国人宿泊者数前年対比(成田)



外国人宿泊者数前年対比(銀座)



注) 上記のグラフは、前年を100として比較した宿泊者数を示す。



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

東武トップツアーズの取り組み

## ・国内外の需要を取り組む東武トップツアーズの事業展開

### ■タイ現地法人の開設

- ・潜在需要の高い訪日旅行を中心とした国際旅行事業の取り込みを強化する
- ・現地法人の直接営業により、現地のお客さまのご要望にきめ細かい対応を図る
- ・アジアの重要拠点として、他の既存海外拠点とのネットワークを活かした、更なる付加価値の高いサービスを提供する



タイ現地法人

### ■リオデジャネイロ五輪指定旅行会社に認定

- ・「第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)」の日本における観戦入場券付ツアーの企画・販売を行う権利獲得(日本では、同社、JTB、KNTの3社のみ認定)
- ・スポーツ営業部・東京2020推進室内に、「リオデジャネイロ・オリンピック・ツアーデスク」を設置する
- ・専任のスタッフを配し、最新の現地情報を収集、発信



リオデジャネイロ

### ■東武トップツアーズ 旅行商品ブランドの統合

- ・旧東武トラベル「ユニック」と旧トップツアー「CUTE」の旅行商品ブランドを統合し、新商品ブランドを検討中(16年4月予定)



商品ブランド統合  
新ブランド立上げ  
(16年4月予定)

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

日光地区の活力創出

## ・鉄道会社ならではの観光コンテンツを提供し、 日光・鬼怒川地域の活性化を強力に推進

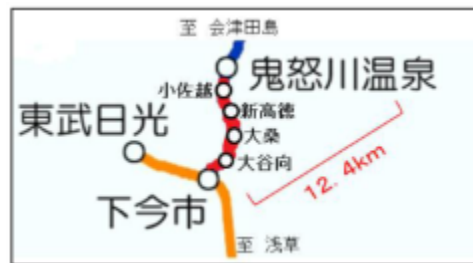
### ■蒸気機関車(SL)の復活運転(17年度目途)

- ・運行区間 下今市～鬼怒川温泉(12.4km)
- ・予定車種 C11形207号機

※ 1966年以来、約50年ぶりの蒸気機関車の復活を目指します



蒸気機関車(C11形207号機)(写真:JR北海道提供)



# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



## 基本戦略4 観光戦略の展開

## 日光地区の活力創出

### ・世界遺産を有する「日光」の観光資源を活用し、観光流動促進 「日光」＝「東武」のイメージをさらに強固に

#### ■ 日光東照宮四百年式年大祭に向けた誘客施策 特別塗装した「日光詣スペース」を2編成へ

- ・JR新宿～鬼怒川温泉間にて、  
JR東日本と相互直通運転を行う特急車両に、新たに導入
- ・特別感を演出する「金の個室」に装飾



日光詣スペース

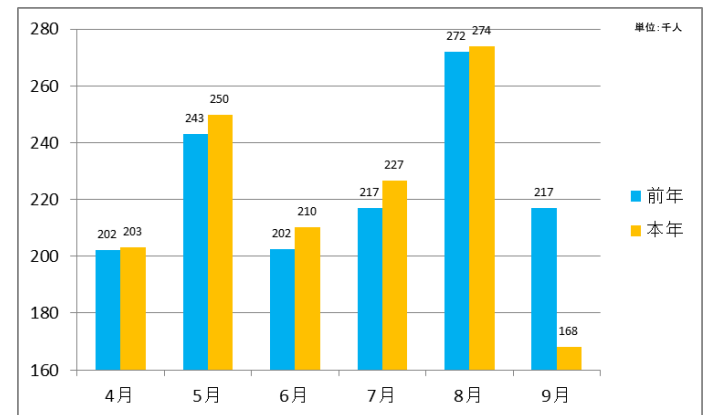
個室席「金の個室」

#### ■ 御朱印ラリーの開催

- ・浅草神社・上野東照宮・日光東照宮の三神社と連携し、  
上野・浅草から日光へと誘客を図る御朱印ラリーを開催
- ・好評につき、御朱印帳(第2弾)を販売  
(累計4, 850部完売)



御朱印帳(第2弾)



日光線特急列車輸送人員(15年4-9月)



### ・地域と連携した交流人口創出による日光地区の活性化

#### ■「日光いろは坂女子駅伝大会」および

#### 「日光ハイウェイマラソン大会」への協力による地域活性化

- ・日光ハイウェイマラソン大会 15年11月28日(土)予定
- ・日光いろは坂女子駅伝大会 15年11月29日(日)予定



日光いろは坂女子駅伝の様子

#### ■日光野外音楽祭の実施

【名称】(仮称) 日光ロックフェス

【開催日】 16年 5月28日(土)予定

【場所】 日光市だいや川公園 そよ風広場

【規模】 想定観客動員数 10,000人

【その他】 音楽イベントと同時に地元主催の物産イベントを開催



日光ハイウェイマラソンの様子

# Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略4 観光戦略の展開

その他の取り組み

## ・沿線の魅力を高める新しい話題を次々に提供

### ■ 発車・列車到着メロディによるイメージアップ

・沿線の活性化や駅のイメージアップを図るため、発車・列車到着メロディーの変更を実施

池袋駅

クラシックメロディー

足利市駅

渡良瀬橋

新越谷駅

阿波踊りのおはやしをイメージしたメロディー（15年8月1日～31日）

### ■ 川越駅構内に「時の鐘」型複合案内版を設置

・案内版の一部にパンフレットラックやポスターボードを設けるほか、デジタルサイネージを設置し、地域の魅力を伝える様々な映像を提供

⇒訪日外国人旅行者を含めたお客さまに東上線沿線の観光地情報を発信



「時の鐘」型複合案内板 “驛の鐘”

### ■ 15年11月「フライング東上号」リバイバルカラー車両2編成運行

・50090型車両のフルラッピング、8000系車両の塗装

1949～67年に運行した行楽列車「フライング東上号」のカラーリングを再現、運行当時の懐かしさを提供

・リバイバルカラー車両乗車記念ツアーの開催

リバイバルカラー車両に乗車し、東上線の始点から終点までを堪能できるツアー開催

その他、ヘッドマークの掲出、記念乗車券等の特典



50090型「フライング東上号」リバイバルカラー（イメージ）

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 1 期間損益(連結)

(単位:億円)

	15年度 (見込)	14年度 (実績)	増 減	15年度 (計画)	増 減
営業収益	5,794	5,833	▲39	5,813	▲19
営業利益	586	532	54	544	42
経常利益	492	461	31	456	36
親会社株主に帰属 する当期純利益	242	307	▲65	243	▲1
利益剰余金	1,497	1,317	180	1,500	▲3
営業利益 ROA ※	3.6%	3.5%	0.1P	3.4%	0.2P
ROE ※	6.3%	8.7%	▲2.4P	6.3%	0P

※営業利益ROA=連結営業利益÷{(期首総資産+期末総資産)÷2}

※ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷{(期首自己資本+期末自己資本)÷2}

※計画値は15年5月15日発表のものを使用している。(P42~P50)

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 2 キャッシュフロー計画(連結)

(単位: 億円)

	15年度 (見込)	14年度 (実績)	増 減	15年度 (計画)	増 減
EBITDA	1,123	1,048	75	1,076	47
(営業利益)	(586)	(532)	(54)	(544)	(42)
(減価償却費)	(537)	(516)	(21)	(532)	(5)
有利子負債残高	8,361	8,300	61	8,443	▲82
有利子負債/ EBITDA倍率	7.4(倍)	7.9(倍)	▲0.5P	7.8(倍)	▲0.4P
純工事額	832	1,595	▲763	835	▲3

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 3 セグメント別営業利益見込

(単位:億円)

	15年度	14年度	増 減	15年度	増 減
	(見込)	(実績)		(計画)	
運 輸	356 (3.9%)	309 (3.6%)	47 (0.3P)	327 (3.6%)	29 (0.3P)
レジャー	66 (3.8%)	80 (4.6%)	▲14 (▲0.8P)	71 (4.1%)	▲5 (▲0.3P)
不 動 産	129 (3.0%)	95 (2.3%)	34 (0.7P)	120 (2.8%)	9 (0.2P)
流 通	2 (0.2%)	6 (0.6%)	▲4 (▲0.4P)	▲5 (▲0.5%)	7 (0.7P)
そ の 他	37 (1.8%)	47 (2.4%)	▲10 (▲0.6P)	36 (1.7%)	1 (0.1P)

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

(下段カッコ:営業利益ROA)

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 《運輸事業》

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	15年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	2,175	2,120	55	2,159	16
鉄道	1,621	1,588	33	1,602	19
その他	554	532	22	557	▲3
営業費用	1,819	1,811	8	1,832	▲13
鉄道	1,302	1,308	注1 ▲6	1,303	注2 ▲1
その他	517	503	14	529	▲12
営業利益	356	309	47	327	29
鉄道	319	280	39	299	20
その他	37	29	8	28	9

### 主な増減要因

		15年度	14年度	増減	%	15年度	増減	%
		見込	実績			計画		
乗車人員	定期外	315	309	6	2.1	312	3	1.1
	定期	588	576	12	2.1	581	7	1.2
	(特急※)	6	6	0	2.1	6	▲0	▲1.7
	計	903	885	18	2.1	893	10	1.2
運輸収入	定期外運賃	738	722	16	2.2	729	9	1.2
	特急料金	56	55	1	2.4	56	0	0.7
	定期運賃	658	645	13	2.0	651	7	1.1
	計	1,452	1,422	30	2.1	1,436	16	1.2

※乗車人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

注1	東武鉄道	鉄道業	人件費	▲67
			減価償却費	+14
			物件費	+47
注2	東武鉄道	鉄道業	人件費	▲34
			物件費	+33



# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 《レジャー事業》

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	15年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	787	796	▲9	788	▲1
ホテル	172	168	4	170	2
スカイツリー	150	165	▲15	150	0
その他	465	463	2	468	▲3
営業費用	721	716	5	717	4
ホテル	167	164	3	167	0
スカイツリー	100	95	5	100	0
その他	454	457	▲3	450	4
営業利益	66	80	▲14	71	▲5
ホテル	5	4	1	3	2
スカイツリー	50	70	▲20	50	0
その他	11	6	5	18	▲7

主な増減要因

※東京スカイツリー入場者数  
 15年度計画 約470万人  
 14年度実績 約531万人

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 《不動産事業》

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	15年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	539	568	▲29	535	4
賃貸	334	339	▲5	337	▲3
タウン	127	129	▲2	124	3
分譲	78	100	▲22	74	4
営業費用	410	473	▲63	415	▲5
賃貸	220	226	▲6	227	▲7
タウン	113	109	4	112	1
分譲	77	注 138	▲61	76	1
営業利益	129	95	34	120	9
賃貸	114	113	1	110	4
タウン	14	20	▲6	12	2
分譲	1	▲38	39	▲2	3

### 主な増減要因

分譲販売戸数		単位:戸				
		15年度 見込	14年度 実績	増減	15年度 計画	増減
販売戸数	戸建住宅	30	13	17	30	0
	マンション	169	422	▲253	169	0
持分換算後 販売戸数	戸建住宅	30	13	17	30	0
	マンション	137	194	▲57	137	0

注

販売用不動産評価損 4 1

※スカイツリータウン来場者数  
 15年度計画 約3,200万人  
 14年度実績 約3,453万人

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 《流通事業》

(単位:億円)

	15年度	14年度	増減	15年度	増減	主な増減要因
	(見込)	(実績)		(計画)		
営業収益	2,019	2,051	▲32	2,049	▲30	注1 池袋店 ▲19 船橋店 ▲1 宇都宮店 ▲6 大田原店 ▲1  注2 池袋店 ▲10 船橋店 ▲10 宇都宮店 ▲5 大田原店 ▲1
百貨店	1,803	1,830	注1 ▲27	1,829	注2 ▲26	
その他	216	221	▲5	220	▲4	
営業費用	2,017	2,045	▲28	2,054	▲37	
百貨店	1,809	1,833	▲24	1,841	▲32	
その他	208	212	▲4	213	▲5	
営業利益	2	6	▲4	▲5	7	
百貨店	▲6	▲3	▲3	▲12	6	
その他	8	9	▲1	7	1	

# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 《その他事業》

(単位:億円)

	15年度	14年度	増 減	15年度	増 減	主な増減要因
	(見込)	(実績)		(計画)		
営業収益	880	956	注 ▲76	872	8	注 14年度決算期変更による影響 東武電設工業 ▲30 東武開発 ▲6
営業費用	843	909	▲66	836	7	
営業利益	37	47	▲10	36	1	

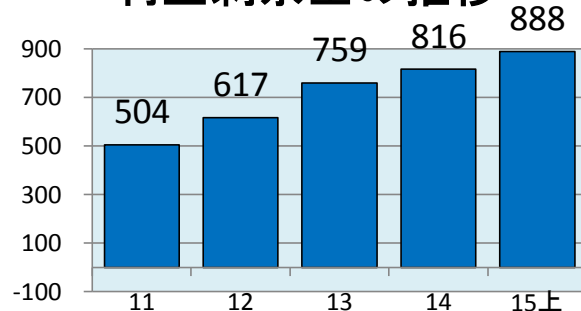
# Ⅲ. 2015年度 通期見通し

## 4 鉄道単体

(単位:億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	15年度第2四半期		増減		14年度 (実績)	15年度		増減	
		(実績)	(計画)	(対前年)	(対計画)		(見込)	(計画)	(対前年)	(対計画)
営業収益	1,079	1,133	1,110	54	23	2,218	2,225	2,197	7	28
営業費用	910	893	901	▲17	▲8	1,844	1,778	1,780	▲66	▲2
営業利益	169	240	209	71	31	374	447	417	73	30
経常利益	137	190	156	53	34	300	352	324	52	28
当期純利益	102	103	89	1	14	200	199	192	▲1	7

(億円) 利益剰余金の推移



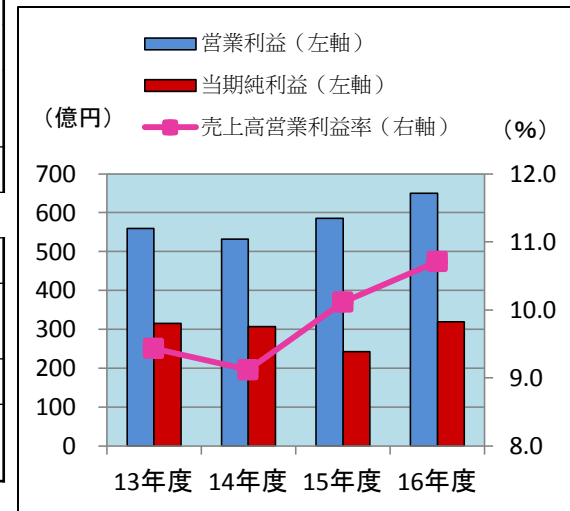
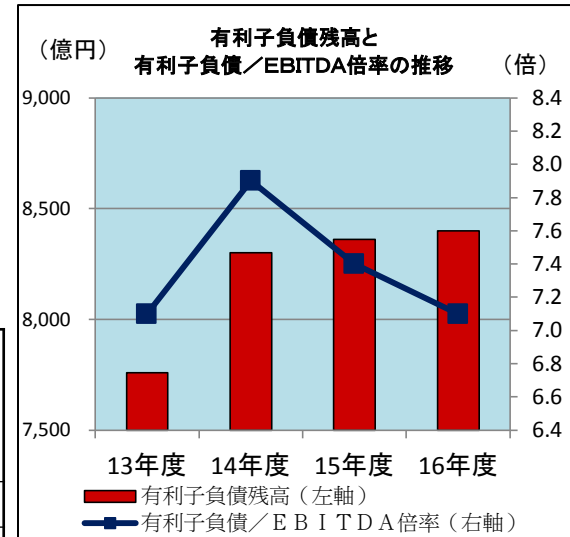
基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
15年3月期	3円00銭 (普通配当3円00銭)	3円00銭 (普通配当3円00銭)	6円00銭 (普通配当6円00銭)
16年3月期 (予想)	3円00銭 (普通配当3円00銭)	3円00銭 (普通配当3円00銭)	6円00銭 (普通配当6円00銭)

# (参考) 中期経営計画の進捗状況

16年度(最終年度)の連結目標数値



	14年度 実績	15年度 見込	15年度 中期経営 計画	差引	16年度 中期経営 計画
営業収益(億円)	5,833	5,794	5,925	▲131	6,070
営業利益(億円)	532	586	600	▲14	650
経常利益(億円)	461	492	485	7	535
親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	307	242	275	▲33	320
売上高営業利益率(%)	9.1	10.1	10.1	0	10.7
減価償却費(億円)	516	537	521	16	527
EBITDA(億円)	1,048	1,123	1,121	2	1,177
有利子負債(億円)	8,300	8,361	8,500	▲139	8,400
有利子負債/ EBITDA倍率(倍)	7.9	7.4	7.6	▲0.2	7.1





# 東武グループ中期経営計画2014～2016

## 基本戦略

1

### 鉄道事業の利便性・安全性の向上

- ◇東武アーバンパークラインの利便性・快適性の向上
- ◇質の高い輸送サービスの提供
- ◇安全性の向上

2

### 東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

- ◇東京スカイツリータウン来場者の維持拡大
- ◇地域との連携によるエリア全体の活性化
- ◇東武グループ各社による収益拡大

3

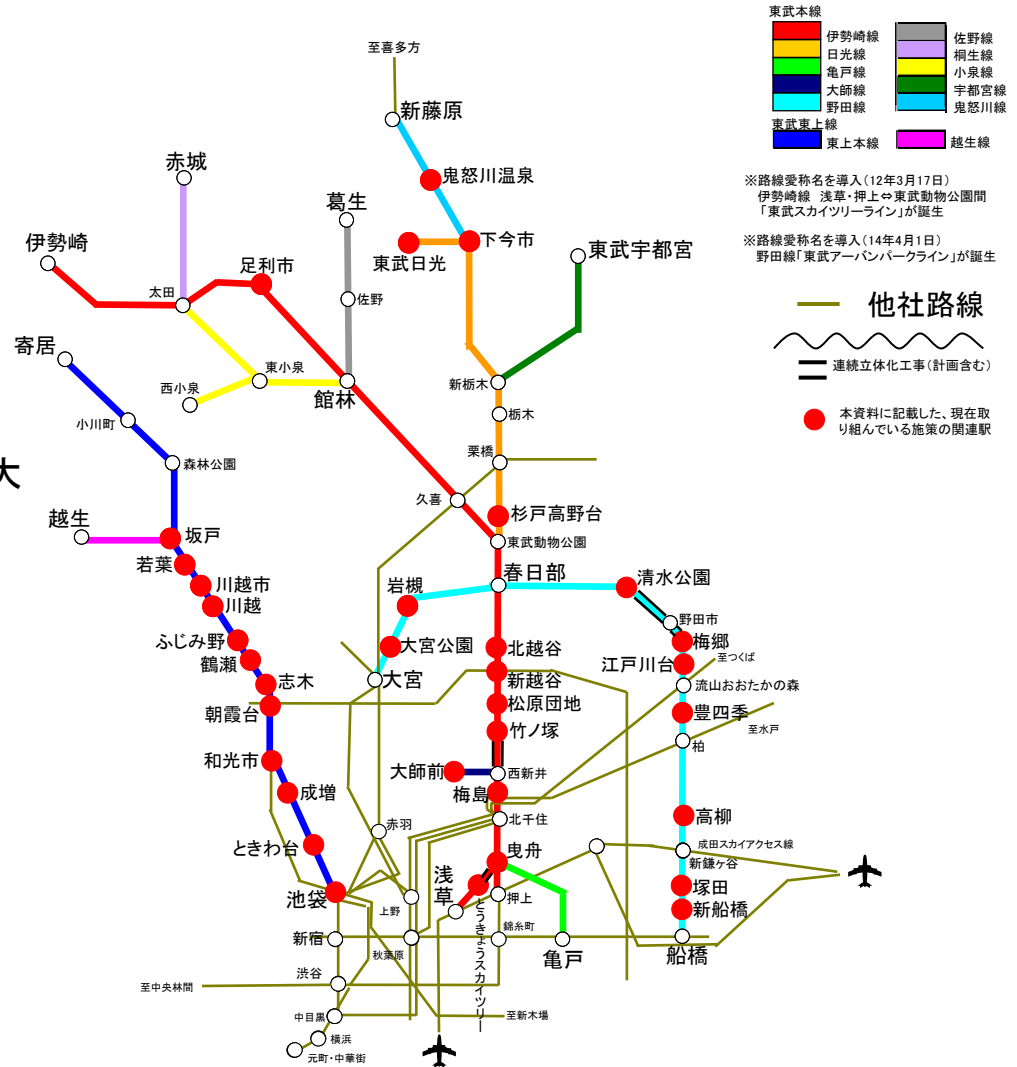
### 沿線の生活価値の向上

- ◇沿線拠点の強化
- ◇駅直結・駅スペースを活用した商業施設の魅力向上
- ◇定住化促進と生活支援事業の展開

4

### 観光戦略の展開

- ◇訪日外国人観光客向けサービスの拡充
- ◇日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出



## 当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

### 東京スカイツリータウン®イルミネーション



NIGHT RIVER VIEW (昨年の様子)

©TOKYO-SKYTREETOWN